

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	45	事業名	在宅ねたきり高齢者等家族介護用品給付事業費	事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	在宅ねたきり高齢者等家族介護用品給付事業費	中事項	在宅ねたきり高齢者等家族介護用品給付事業費	部課名	保健福祉部介護保険課			
事業開始年度	平成 12 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(介護保険法) <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等(<input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市在宅ねたきり高齢者等家族介護用品給付事業実施要綱)				電話番号	21-3023

1. 事業の目的・必要性と内容(PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 在宅で寝たきりの高齢者や認知症の高齢者を抱える家族に対し、介護保険の給付対象外になっている介護に必要なおむつやその他の介護用品の購入に要する経費の一部を給付することにより、家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減に資すること。
	【必要性】 当該事業は介護保険法の地域支援事業に基づく事業であり、高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように在宅介護を支援するよう求められており、在宅で寝たきりの高齢者や認知症の高齢者を抱える家族を支援する必要がある。
内容	おおむね65歳以上の高齢者で要介護4または要介護5の方を介護する家族(高齢者、家族とも市民税世帯非課税者に限る)からの申請書を受理後、給付の決定・廃止を行う。給付開始月の前月に現況確認を行い、4～9月、10～3月分の2回に分けておむつ利用券(助成 1月6, 250円まで)を発行する。

2. 概算総事業費(DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人, 千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費(A)		11,633	13,308	14,158	13,368	16,221	0
特定財源	国・道	6,892	7,884	8,388	7,920	9,610	
	市債						
	その他						
一般財源		4,741	5,424	5,770	5,448	6,611	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.09 717	人工 0.11 826	人工 0.11 797	人工 0.11 797	人工 0.13 948	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	717	826	797	797	948	0
総事業費計(A+B)		12,350	14,134	14,955	14,165	17,169	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	人	1,910	2,192	2,210	
支給額	千円	11,633	13,308	13,368	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	寝たきりの高齢者や認知症の高齢者を抱える家族の経済的負担の軽減
------	---------------------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	おむつやその他の介護用品の購入に要する費用を補助することで、介護者家族の経済的負担の軽減が実施された。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	コスト・負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	評価対象外
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	不可能
評価結果から明らかに なった課題事項など	高齢化の進行とともに介護による経済的負担を抱える家族も増加していくと考えられる。それに伴い事業費が増加する可能性があるため、事業費の適正化を検討していく必要がある。				

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 対象者の増加が見込まれることから、事業の周知をさらに進めていく必要がある。
	現行どおり	(経費について) 事業費の適正化を検討していく必要がある。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業 の状況など)	盛岡市…支給要件:市内に住所を有する65歳以上の者のうち、①一日中ねたきりの状態が6月以上継続し、又は今後6月以上継続することが予想される者 ②心身の障害又は、疾病等により、失禁の状態が6月以上継続し、又は今後6月以上継続することが予想される者 ③6月以上継続の場合は、医師、介護福祉士、介護支援専門員、保健師、看護師、民生委員、ホームヘルパーなどの証明④今後6月以上継続が予想されるものは医師の証明※上記の要件を満たしていれば介護度の有無は問わない。給付に際しては、上限額ではなくパンツ、尿とりパッド等種別ごとに上限の枚数を設けている。
--------------------------------	--